

上長査閲機能を強化した電子メール誤送信対策システム  
 「GUARDIAN CorrectMail」の新バージョンを9月13日(月)より販売開始

キヤノンMJ ITグループのキヤノンITソリューションズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:浅田和則、以下キヤノンITS)は、電子メール誤送信対策システムの新バージョン「GUARDIAN CorrectMail(ガーディアン コレクトメール) V1.1」を2010年9月13日(月)より販売開始します。また、GUARDIAN CorrectMailを使用した「メール誤送信対策 ASPサービス」も2010年9月13日(月)より新バージョンでのサービス提供を開始します。

# GUARDIAN<sup>®</sup> CorrectMail

ガーディアン コレクトメール

電子メールの誤送信は、主にヒューマンエラーが原因であり、技術的な対策が困難なため、各組織で大きな課題となっています。「GUARDIAN CorrectMail」は、送信者本人(自己査閲)や上長による確認(上長査閲)、Ccに同報されている社内の第三者による気づきによって、誤った電子メールを外部に配送する前に取り消すことで、誤送信の防止に役立つシステムです。電子メールの再確認を簡単に徹底させることができ、ヒューマンエラーを減らす仕組みができたこと、2010年1月の販売開始より好評をいただいています。

今回の新バージョンでは、自社開発の強みを活かし、市場から多く寄せられた要望をいち早く取り入れ、上長査閲機能の強化や運用の負荷の軽減を図っています。

■ 上長査閲機能を強化

ユーザー区分(一般ユーザー、部門管理者)によって操作できる権限が変更可能になりました。これにより、「一般ユーザーには保留メールの操作はさせず閲覧だけ許可する」、「一般ユーザーには保留メールの削除はさせるが、外部に送出する場合は必ず上長が承認する」といったセキュリティポリシーに合った運用が可能になりました。

また、保留された電子メールの確認漏れを防ぐため、保留メールが指定された時間、操作されずに溜まっている場合には通知メールを送信することが可能になりました。

■ 運用の負荷を軽減

判定ルールの作成時の宛先アドレスの条件や通知メールの送信先の指定に、メールアドレスを直接入力する代わりに「管理者」を選択できるようになりました。組織変更などで上長が変更になった場合でも、グループの設定を変更するだけで、ルールを作成し直す必要はなく、すぐに新しい組織での運用が可能になります。

製品名	希望小売価格(税別)	発売日
GUARDIAN CorrectMail (50ユーザー版)	17万5000円～	2010年9月13日

<「GUARDIAN CorrectMail V1.1」の主な新機能>

1. ユーザー権限の管理機能

ユーザー区分(一般ユーザー、部門管理者)によって操作できる権限が変更可能になりました。これにより、例えば、上長による確認を徹底させたい場合は、「一般ユーザーには保留メールの操作はさせず閲覧だけ許可する」、また、自己査閲だけでは不安だが上長査閲のみで負荷が増えるのを避けたい場合は、「一般ユーザーには保留メールの削除はさせるが、外部に送出する場合は必ず上長が承認する」など、自己査閲と上長査閲を柔軟に組み合わせることで、セキュリティポリシーに合った運用が可能になります。

2. 操作履歴の記録機能

一般ユーザーや管理者などが行った操作内容(保留、中継、遅延送信、削除、送信)が履歴として確認できるようになりました。

3. 未処理保留メールに対する通知機能

保留メールが指定された時間、操作されずに溜まっている場合に通知メールを送信することが可能になりました。これにより、外部に送信されるべき電子メールを確認し忘れ、長時間保留されることを防ぐことができます。

4. 保留メール操作時の通知機能

一般ユーザーや管理者などが保留メールの操作(削除、送出、遅延送信時)を行った場合に通知メールを送信することが可能になりました。通知メールを受け取ることで、上長が行った操作について、送信者が管理画面にログインすることなく操作状況を把握することができます。

5. 「管理者」指定機能

判定ルールの作成時の宛先アドレスの条件や通知メールの送信先の指定に、メールアドレスを直接入力する代わりに「管理者」を選択できるようになりました。これにより、組織変更などで上長が変更になった場合でも、グループの設定を変更するだけで、ルールを作成し直す必要はなく、すぐに新しい組織での運用が可能になります。

## 6. 検索・ソート機能

保留メール一覧画面での保留メールおよび、メンバー管理画面でのユーザー・部門・グループに対して、検索・ソートが可能になりました。保留メールやメンバーの多い組織でも効率的に操作が行えます。

## 7. 未登録ユーザーの動作管理機能

GUARDIAN CorrectMailに登録されていないユーザーが送信した電子メールに対して「中継」または「拒否」の選択ができるようになりました。これにより、GUARDIAN CorrectMailの設置場所がより柔軟に選べ、導入しやすくなりました。

## 8. CSVによるユーザー管理機能

管理画面から、CSVファイルをエクスポート・インポートすることにより、部門・グループ・ユーザーの追加・変更・削除が可能になりました。これにより、新規導入時や組織変更時などの大量の情報変更時におけるユーザー管理にかかる手間を軽減し、業務の効率化が図れます。

## <「GUARDIAN CorrectMail」の主な特長>

### 誤送信防止アプローチ

#### 【自己査閲】

GUARDIAN CorrectMailは、送信した電子メールを一定時間保留（配送遅延）することができます。送信者は保留されている電子メールを自分自身で確認し、削除することができます。設定された一定時間を経過した電子メールは、自動で配送されるので送信し忘れることはありません。



#### 【上長査閲】

GUARDIAN CorrectMailは、送信した電子メールが判定ルールに合致した場合、その電子メールを保留することができます。上長は部下の保留されている電子メールを確認し、送信または削除することができます。



#### 【社内の同報受信者による発見】

GUARDIAN CorrectMailの分割評価機能を利用することで、1通の電子メールに外部の宛先と内部の宛先など複数の宛先が含まれている電子メールを分割し、宛先ごとに異なるポリシーを適用することが可能です。

例えば社内の部門メンバー宛は5分間遅延させて送信、社外のお客さま宛は30分間遅延させて送信と設定することで、電子メールが社外に配送される前にCcに含まれている社内の部門メンバーが誤送信を発見する可能性が広がります。



<「GUARDIAN CorrectMail」販売情報>

製品名	希望小売価格(税別)	年間保守料(税別)
GUARDIAN CorrectMail (50ユーザー版)	175,000円	26,250円
GUARDIAN CorrectMail (100ユーザー版)	350,000円	52,500円
GUARDIAN CorrectMail (150ユーザー版)	525,000円	78,750円
GUARDIAN CorrectMail (200ユーザー版)	700,000円	105,000円
GUARDIAN CorrectMail (250ユーザー版)	875,000円	131,250円
GUARDIAN CorrectMail (300ユーザー版)	990,000円	148,500円
GUARDIAN CorrectMail (350ユーザー版)	1,085,000円	162,750円
GUARDIAN CorrectMail (400ユーザー版)	1,160,000円	174,000円
GUARDIAN CorrectMail (450ユーザー版)	1,215,000円	182,250円
GUARDIAN CorrectMail (500ユーザー版)	1,250,000円	187,500円
GUARDIAN CorrectMail (600ユーザー版)	1,404,000円	210,600円
GUARDIAN CorrectMail (700ユーザー版)	1,526,000円	228,900円
GUARDIAN CorrectMail (800ユーザー版)	1,616,000円	242,400円
GUARDIAN CorrectMail (900ユーザー版)	1,674,000円	251,100円
GUARDIAN CorrectMail (1,000ユーザー版)	1,700,000円	255,000円

※GUARDIAN CorrectMailはソフトウェア製品です。インストールCD媒体で提供します。

※GUARDIAN CorrectMailには、初年度から保守費用が別途必要です。

※1,001ユーザー以上で利用する場合は、別途見積となります。

□GUARDIAN CorrectMailを使用した「メール誤送信対策 ASPサービス」も2010年9月13日(月)より新バージョンでのサービス提供を開始します。

「メール誤送信対策 ASPサービス」についての詳細は

<http://canon-its.jp/product/asp/gcm/>にて公開しています。

<「GUARDIAN CorrectMail」動作要件>

■ サーバー要件

サーバー	要件
OS	Cent OS 5.3 以降(64bit版) Red Hat Enterprise Linux 5.3以降(64bit版)
CPU	インテル Pentium プロセッサー 1.80GHz 以上推奨 ※Itanium、Itanium 2は非対応
HDD	ユーザー数と保留メールの保存期間に依存
メモリー	4GB以上推奨
その他	sendmail 8.12以降が稼動するMTA環境

■ クライアント要件

クライアント	要件
対応Webブラウザ	Windows Internet Explorer 7 Windows Internet Explorer 8 Mozilla Firefox 3.5

<GUARDIANシリーズについて>

GUARDIANシリーズは、キャノンITSが独自開発・販売を行っている企業向け情報セキュリティ対策製品群です。国内導入実績No.1(※)を誇る、電子メールフィルタリングソフト「GUARDIANWALL」をはじめ、Webフィルタリングソフト「WEBGUARDIAN」など、さまざまなセキュリティリスク対策に役立つソリューションを提供しています。

詳細は「GUARDIANシリーズ」ホームページ【<http://canon-its.jp/guardian/>】をご覧ください。

(※)株式会社富士キメラ総研 2010ネットワークセキュリティビジネス調査総覧より

※GUARDIAN、GUARDIANWALL、WEBGUARDIAN、CorrectMailは、キャノンITソリューションズ株式会社の登録商標です。

※Windows、Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

※インテル、Pentium、Itaniumは、米国Intel Corporationの登録商標です。

※Linuxは、Linus Torvalds氏の登録商標です。

※Red Hatは、米国Red Hat Inc.の登録商標です。

※その他の製品名および社名などは各社の商標または登録商標です。仕様は予告なく変更する場合があります。